



議会ブログはこちら♪



短冊に願いを込めて…

迅速に対応 予算化へ

新型コロナウイルス感染症対策



感染防止のため、マスクを着用しての議会となった。

6月定例会議は、6月4日から18日までの15日間の審議期間で開催されました。

新型コロナウイルス対策関連事業について、早期に対応するため、関連予算案の審議を開会初日に行いました。

また、こうした状況を勘案し、6月に支給される議員の期末手当を減額する条例改正を行いました。

2日目は、一般質問が行われ、3議員が登壇し、村政を質しました。

○ロータリー除雪車(1.5m級)購入

契約額 2811万6000円

相手方 打川自動車株式会社

納期限 令和2年12月10日



議会の動き

議会全員協議会

4月22日と6月18日に議会全員協議会を開催し、新型コロナウイルス感染症対策の状況について報告を受けました。

この間、議会としても迅速な対応をはかるため、議長、副議長、議会運営委員長の三者により協議を重ね、当局と調整を行いました。



6月定例会議



人事

○農業委員会委員の選任

谷 藤 勝 也 (岩井川字合居) ※新任
高 橋 祐 子 (椿川字堤) ※再任
佐 藤 一 人 (田子内字平良) ※新任
佐々木 芳 和 (田子内字下田) ※再任

佐々木 喜久藏 (岩井川字野頭) ※新任
半 田 大 治 (椿川字下村) ※再任
菅 原 守 (椿川字新屋布) ※再任
佐々木 文 一 (岩井川字上野) ※再任

任期：令和2年7月20日～令和5年7月19日

契約

○岩井川配水池築造工事

契約額 7865万円
相手方 岡田・大橋特定共同企業体
工期 令和2年12月15日まで

○中部地区浄水棟機械設備工事

契約額 1億6478万円
相手方 理水化学株式会社仙台支店
工期 令和3年3月15日まで

質疑白熱

令和2年度一般会計補正予算(第2号)の歳出に対する主な質疑の内容

新型コロナウイルス感染症対策

質問 応援クーポン事業補助金について、詳細は。

答弁 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、村内の宿泊業者及び飲食店、食品加工販売の事業の持続継続と、消費還元を図る目的で行う。5月末時点の住民の方、全員を対象とし、一人当たり1万円分のクーポン券を配布する。利用期間は7月1日から12月31日まで。6月中に参加店舗を併せて募集し、配布と同時にクーポン券利用可能な店舗をお知らせしたい。

質問 観光や飲食店の民間業者ではどれくらい損失があるか把握はしているのか。

答弁 宿泊関連、加工施設を併せて約1億円程度と認識している。そのうち第三セクターが3700万円程度。それ以外が民間の損失と考えている。



村民に配布された応援クーポン券

第三セクター緊急支援金

質問 今回の休業に関しての支援金という解釈で良いか。この後に感染者が増えた場合、また休業も考えられるが、その場合は再度村が支援するのか。

答弁 今回は3月から新型コロナウイルス感染症関係で、スキー大会から春の新緑シーズンの行楽が全く見込めず営業が落ち込んだことに対する助成である。今後のことについてははっきりとは申し上げられないが、状況に応じて対応が変わる可能性もある。

質問 休業期間中の職員の給与はどうなっていたのか。

答弁 休業中は従業員は休暇という扱いになっている。国の雇用調整助成金に申請している。

村民体育館の修繕

質問 雨漏りに対しての修繕のことだが、詳細は。

答弁 村民体育館の雨漏りが発生し、原因を調査したところ、屋根の上にある排水溝に水が溜まっている状態で雨漏りが発生することが判明した。その排水溝部分に防水シートをかぶせる補修工事となっている。

定住促進住宅管理費

質問 旧細川宅の改修工事について、玄関周辺の改修のことだったが、木材運搬の大型車が入っていけるように道路の拡幅も視野に入れて検討しなすべきと考えるが。

答弁 仮に旧細川宅を解体して拡幅したとしても、隣接している家屋もあり道路自体が狭いので、限りがある。以前、店舗だった玄関付近を改修することで、道路のカーブを広げ、視界を良くするということを考えている。空き家に住みたいという要望も出ていることで住宅としての需要があり、改修して貸し出す方向で検討している。

伊勢谷 勝 美 議員



オンライン授業の整備は

教育長 今後も引き続き検討したい

質問 新しい学習形態として、教師の顔が見えるオンライン授業を検討してはどうか。

教育長 オンライン学習は有効な手法の一つであるが、実施するには、通信環境の整備、各家庭の負担が想定される。今回のような状況であれば、電話や家庭訪問、各学年の分散登校など、子どもと教師とのコミュニケーションを取り、心の通う対応をする方が有効と考えた。

再質問 新型コロナウイルスの影響の長期化、災害等で休校しなければいけない場合もある。オンライン学習できる環境整備を、自治体の責任で整えるべきと考えるが。

教育長 地域の実情等からすると今回のような対応がとれるのが一番よいが、今後の状況により、学習の遅れの挽回が困難なケースも考えられるので、引き続き検討したい。

新型コロナウイルス感染症対策について

質問 生活困窮者の増加が予想されるが、どのような対応、支援を検討しているか。

村長 生活困窮者に経済支援をできるだけ早く行うため、特別給付金は専決処分での対応をした。補正予算についても、議会初日に可決いただいたので、すでに村内事業所等への支援を始めている。

人との接触を8割減らす、10のポイント
緊急事態宣言の中、誰もが感染するリスク、誰でも感染させるリスクがあります。新型コロナウイルス感染症から、あなたと身近な人の命を守るよう、日常生活を見直してみましょう。

1 ビデオ通話で オンライン帰省	2 スーパーは1人 または少人数で すいている時間に	3 ジョギングは 少人数で 公園はすいた時間、 場所を選ぶ
4 待てる買い物は 通販で	5 飲み会は オンラインで	6 診療は遠隔診療 定期受診は間隔を調整
7 筋トレやヨガは 自宅で動画を活用	8 飲食は 持ち帰り、 宅配も	9 仕事は在宅勤務 通勤は医療・インフラ・ 物流など社会機能維持 のために
10 会話は マスクをつけて	3つの密を 避けましょう 1. 換気の悪い密閉空間 2. 多数が集まる密集場所 3. 間近で会話や発声をする密接場面	

手洗い・
咳エチケット・
換気や、健康管理
も、同様に重要です。

質問 国が新しい生活様式の定着を目指すといっているが、村の取り組みを伺う。

村長 3密を避けた、公共施設での感染予防対策は、これまでどおりである。職員の働き方改革やテレワークなど、今後必要に応じて定着化を図り、必要に応じて対応したい。

質問 4月には村内の会社に、6月には個人向けのアンケート調査を独自に実施している。新型コロナウイルスの影響で、これから経済が悪くなると会社がどうなるかわからないとの回答が多くあった。今後、相談等が増えることも予想されるがどうか。

村長 困窮者対策は大事な部分であるので、各種団体等とも連携して情報収集し、対応したい。

高橋清一 議員



マイナンバーカードの利用メリットは

村長 カード形態の本人確認ツール

質問 マイナンバーカードを利用した特別定額給付金のオンライン申請に利用しないで、原則郵送申請にしたのはなぜか。感染防止の観点から郵送申請はわかるが、村民に対しマイナンバーカードの効用を

は 申請に使わなかったのは

改善されていくと考える。
この制度はまだ未成熟で、今後の申請に使わなかったのは、具体的なメリットが判らないとの声が多い。村民に利便性の積極的な公表と周知を図るべきだ。現時点での普及率と、今後計画されているカード利用の事業と効果を聞く。
村長 国の施策の一環として村でも実施しているが、現実的には内容がしっかり構築されていないように思う、期待する形にはなっていない。メリットはカード形態の本人確認ツールであると思っている。交付率は23・6%で全国では高いほうで、県内では藤里町に次いで2番目だ。この制度はまだ未成熟で、今後改善されていくと考える。

質問 マイナンバーカード利用の、具体的メリットが判らないとの声が多い。村民に利便性の積極的な公表と周知を図るべきだ。現時点での普及率と、今後計画されているカード利用の事業と効果を聞く。
村長 国の施策の一環として村でも実施しているが、現実的には内容がしっかり構築されていないように思う、期待する形にはなっていない。メリットはカード形態の本人確認ツールであると思っている。交付率は23・6%で全国では高いほうで、県内では藤里町に次いで2番目だ。この制度はまだ未成熟で、今後改善されていくと考える。

広く村民に伝える機会を逃したように思うがどうか。
村長 住民基本台帳のデータを最初から印字したものを郵送すれば、簡素で効率的に早く出来ると判断した。オンライン申請も受付した。結果的には郵送、窓口での手続きが進んで、早い給付が出来た。

職員試験受験の奨励は
質問 優秀な人材を採用する(受験してもらう)ための対策は、どのように取っているのか。学力優秀な村出身の生徒を、村に残っていただくようには考えないのか。



村長 他市町村で通常2回ほどの試験を、村では3回実施するなど受験機会を増やす対策をしている。村内からの受験者数は、なかなか増えていないのが実状だ。中学校の卒業式や成人式などでも、村の試験を受け、職員となって村づくりを手伝っていただくように機会を設けて話している。

緊急時に問題はないか

質問 近年村外からの職員採用も多い。災害時等の、緊急体制時に問題がないように対策は取っているのか。

村長 災害時の動員配置計画は村外から通勤する職員にも配慮した計画を立てている。閉庁時にも事前予測が可能な災害レベルに応じて、自宅待機を申し合わせるなど行っている。これからも、そういったところを徹底したい。

佐々木 修 議員



のぞき橋交差点に信号機設置を

村長 積極的に必要性を訴えて行く



信号機設置で安心、安全を

極的に信号機の必要性を訴えて行く。

質問 車両の通行量、通学路、横断歩道、バス乗車など様々な事が絡む交差点で、運転者の方も紛らわしいと感じており一度調査を行うべきである。人に対しての安全指導では限界があり設備としての信号機設置が望ましい。万全の要望体制で臨むべきである。また、今後の街づくりの観点から、交差点の位置づけは。

村長 道路構造に関しての検討も必要かもしれない。現在、要望書は出していないが今後具体的に検討する。街づくりは全体構想の中で検討材料の一つにして行く。

プログラミング教育は

質問 小中学校のプログラミング教育必修化への取り組みは。また、コロナウィルスの休校措置の学習遅れ回復に影響はないか。

教育長 必修化に伴い、全体計画を作成し取り組んでいる。

また、プログラミング教育の一環として、宇宙エレベーターロボット大会参加、トレースカー等、特徴的な取り組みをしている。独立した教科ではなく、既存の教科、総合的な学習の中で行っていくの、時間的なしわ寄せの影響はない。

質問 学校現場に高速通信、情報端末一人一台を整備する国の「GIGAスクール構想」への取り組みは。休校措置対策としてオンライン授業などへ活用を想定し早急に取り組むべきでは。

教育長 導入規模、経費、教師の研修、また本村の探求型授業への効果的な活用法や、既存の設備との連携も検討中である。プログラミング教育との関連として「GIGAスクール構想」はメリットが大きい。オンライン授業については、本村の教育実態に合う活用方法を財政も含め総合的に考えて行く。

質問 のぞき橋交差点は、国道横断の歩行者が多い。小学生の集団登校児童は二班で二十数人おり、横断歩道だけでは安全が確保されていない。事故防止、通学路の安全、ダム工事車両増の影響などを考慮し、信号機設置の要望を進めるべきでは。

村長 過去に死亡事故も発生しており、これまでも要望した経緯がある。管轄は秋田県公安委員会で、予算、設置基準などにより採択に至っていない。歩行者、運転者双方の更なる安全指導も必要だが、質問内容に基づき、あの手、この手で要望の機会を作り積

令和2年度一般会計補正予算(第2号)の主なもの

歳入	
○地方交付税	
特別交付税増(地域おこし協力隊員4名分)	1130万円
○国庫支出金	
低所得者保険料軽減国庫負担金増	82万円
子育て世帯臨時特別給付金支給事業費補助金	250万円
新型コロナウイルス感染症対策対応地方創生臨時交付金	5046万円
子ども・子育て支援事業費補助金	27万円
学校臨時休業対策費補助金(給食センター材料費)	4万円
○県支出金	
低所得者保険料軽減県負担金増	41万円
○繰入金	
財政調整基金繰入金増	2000万円
森林環境譲与税基金繰入金	720万円
○諸収入	
スノーボード大会開催助成金返還金	150万円
○村債	
過疎対策事業債(新規起業等育成事業1件)	90万円

歳出	
○総務費	
地域おこし協力隊員経費追加	1130万円
地方創生臨時交付金事業	5306万円
第三セクター緊急支援金	1580万円
J-lis負担金追加(コンビニ交付事業)	32万円
○民生費	
介護保険特別会計(保険事業)繰出金追加(低所得者保険料軽減分)	163万円
○衛生費	
国保(直営診療施設勘定)特別会計繰出金追加	215万円
○農業水産業費	
循環拠点施設指定管理料追加(EM活性液配布作業分)	53万円
○商工費	
新規起業等育成支援金	97万円
○土木費	
住宅リフォーム等促進事業補助金	90万円
定住促進住宅管理費	200万円
○消防費	
危険空き家解体事業補助金	30万円
○教育費	
本工事費(村民体育館修繕)	100万円
学校臨時休業対策費補助金(学校給食食材キャンセル分)	6万円
○諸支出金	
森林環境譲与税基金積立金	900万円

6月定例会議議決事項名

専決処分	村税条例等の一部を改正する条例
	国保条例の一部を改正する条例
	令和元年度一般会計補正予算(第7号)
	令和元年度国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)
	令和元年度国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第5号)
	令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)
	令和元年度介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第5号)
	令和元年度介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第2号)
令和2年度一般会計補正予算(第1号)	
繰越明許費繰越計算書について	
農業委員会委員の選任について ※8件	
村長専決条例の一部を改正する条例について	
村税条例の一部を改正する条例について	
後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	
国民健康保険条例の一部を改正する条例について	
介護保険条例の一部を改正する条例について	
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	
物品供給売買契約の締結について ※ロータリー除雪車	
令和2年度一般会計補正予算(第2号)	
令和2年度国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)	
令和2年度国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第1号)	
令和2年度介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)	
特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	
工事請負契約の締結について ※岩井川配水池築造工事	
工事請負契約の締結について ※中部地区浄水等機械設備工事	
議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について	
教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元を求める意見書の提出について	
日米地位協定の抜本的な見直しを求める意見書の提出について	
秋田県主要農作物種子条例の制定に関する意見書の提出について	
地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	

請願・陳情

6月定例会議で4件の陳情が提出され、総務教育民生常任委員会、産業建設常任委員会にそれぞれ付託。審査を継続していた陳情を含め、4件を採択、1件を趣旨採択すべきものとし、採択された陳情は、要請に基づき意見書を提出することに決定しました。

採択とした陳情

- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択の陳情
(陳情者) 秋田県教職員組合
執行委員長 櫻田 憂子 外1名
- 日米地位協定の抜本的な見直しを求める意見書の採択の陳情
(陳情者) 秋田県平和委員会
代表理事 川野辺 英昭
- 秋田県主要農作物種子条例の制定を求める陳情
(陳情者) 食と緑、水を守る秋田県労農市民会議
議長 石田 寛
- 地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情
(陳情者) 連合秋田横手湯沢地域協議会
議長 齊藤 斉

趣旨採択とした陳情

- 公立学校に「1年単位の変形労働時間制」を導入する条例制定に反対する陳情
(陳情者) 秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 石川 洋基 外1名

議会改革 の取組

議会運営委員会

6月定例会の運営全体を振り返り、その内容を今後の議会運営や常任委員会活動をはじめ議会全体の活動に活かすため、定例会終了後の6月29日に議会運営委員会を開催しました。

今回がはじめての試みで、今後、定例会終了ごとに開催を予定しています。

今回の会議では、審議日程の調整や、一般質問のあり方、新型コロナウイルス感染症が治まらない中での議会活動等について議論しました。



暫時 休憩

▼毎日雨模様と不順な天気が続いている。農作物に影響がでないか、心配な部分があるが、早く、梅雨明け宣言が出される事を期待したい。

▼新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が解除され、人々の動きが大きくなって来た。それにともなって、感染者が再び多くなって来ている。コロナウイルスが全世界から消えて完全に無くなるのはもっと先の事であろう。まずは国が示した新しい生活スタイルで自分を守り、他人に迷惑をかけない事が今後も大事。

▼大きく揺れ動いた、イージス・アショア問題。秋田、山口への配備計画が撤回された。
国の防衛も大事であるが、一番は住民の安全、安心が基本であると思う。

▼コロナウイルスの影響で村の行事や県内の夏祭、イベントがすべて中止となっている。さみしい夏であるが健康第一と考え、耐え忍びたい。熱い夏の予報も出ている。元気に乗り越えたい。

(委員・佐々木 謙吉)

しょうすにかけるかな?



第2弾

なるせ保育園ひまわり組のみなさんに**大好きなもの**の絵をかいてもらいました!



すずき
れなちゃん



すいか



ささき
みうちゃん



いちごドーナツ



ささき
いつせいくん



コップ

あの質問はその後どうなったの?

平成26年12月定例会議での佐々木謙吉議員の一般質問

「女性消防団員の登用、進めてはどうか」

追跡調査しました!



小学校での防災教室
のようす



募集中!

質問

全国的に消防団員が減少し、その確保が重要な課題となっている。自治体では女性消防団員の登用を積極的に推進している。全国でも女性ならではの活動報告や事例が報告され、改めてその重要性を感じた。村でも登用を進めてはどうか。

回答

近年、消防団員の不足から大きくクローズアップされており、必要性は感じている。今後、募集の方法等について早急に対応したい。

その後どうなったのか...

平成29年度に初めて女性消防団員が入団し、現在10名の方が在籍しています。保育園や小学校での防災教室の開催など、女性消防団員として村の防災対策に貢献されております。今後も、皆様のご活躍を期待しています。